

視力検査のおねがい



◆視力の発達にはタイムリミットがあります！

視力の発達にはタイムリミットがあります。視力は6歳頃までに完成するといわれています。視力の異常がある場合には、治療効果が高い3歳～4歳頃に治療を開始できるかどうか重要です！3歳児健診で目の検査をするのは、目（視覚）の異常を早期に発見し、治療をより早くに行うためです。

◆健診当日の検査について

健診当日は、機器による目の検査を行います。機器による検査は光の屈折をみる検査です。健診までに、ご家庭で視力検査を必ず実施していただき、結果を調査票にご記入ください。

- ❗ ご家庭で視力検査が実施できなかった場合や、正しく見えていない場合などには、機器による検査の前に、視力検査を実施します。
その場合、順番が前後する場合がありますので、ご了承ください。

◆ご家庭での視力検査について

<用意するもの>

- 1 視標：①つぎのページの視標1、2をそれぞれ切り取り、20cm四方くらいの白い紙にはりま
す。（図1を参考にしてください。）
②お子さん用ランドルト環は、黒い部分を切り取り、厚紙で裏打ちします。
（図2を参考にしてください。）
- 2 眼帯：ガーゼまたはティッシュペーパーを、5cm くらいの大きさに折ってバンソウコウかセ
ロテープで、のぞかれないようにしっかりとってください。
- 3 距離を測るための定規、またはメジャー。

<検査の方法>

- 1 楽に本が読める程度の明るい部屋で行います。
- 2 視力検査の練習をします。
 - ① 1mくらい離れて「視標1」を見せます。両目を開けてします。
 - ② 切れ目の方向をランドルト環か指で示して答えさせます。
 - ③ 切れ目の方向は、右、左、上、下の四方向とします。視標の向きを変える時は、必ず一度視標を隠してから変えてください。
 - ④ 1mくらいでできたら、2.5m（できるだけ正確に測ってください。）離れて行ってください。
 - ⑤ 両目を開けて、切れ目の方向を正しく答えられますか。
 - ⑥ 片目を隠す練習です。右目、左目をそれぞれ隠して答えさせてください。
- 3 検査をします。
 - ① 「視標1」を使い、2.5mでします。
 - ② 両目で検査をします。上下左右の4方向を見せて、3方向以上正解したら見えたとします。
 - ③ 左目を隠して右目の検査をしてください。見にくそうだったり、いやがったりするときには、左目から検査してください。両目の時と同じように判定します。
 - ④ 続いて隠す目を変え、左（または右）の目の検査をします。
 - ⑤ 続いて「視標2」についても同じ方法で検査を行います。
- 4 「視標1」「視標2」それぞれの検査結果を「3歳児健康診査調査票」にご記入ください。

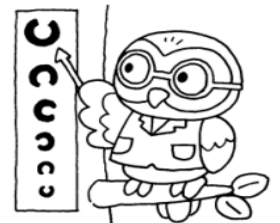


図1 視標の見せ方



図2 切れ目の答え方



車のハンドルを持つ要領で、お子さんにランドルト環の持ち方を教えてあげてください。お子さんが、輪の切れ目を上手に回せるようになったら、図1のように視標を見せながら「さあ、これと一緒にしてごらん。」と、同じ方向にあわせられるように、楽しいムードでお子さんをリードしてあげてください。

「視標 1」、「視標 2」の順で検査を行ってください。

キリトリ

視標 1



指標 2



お子さん用ランドルト環

*厚紙で裏打ちしたものを作ります。

